

【エクアドル内政：2016年2月】

1. 内政

(1) 閣僚の交替

(ア) コレア大統領は、2月3日付大統領令第944号により国防大臣、外務大臣、文化・遺産大臣の交替を発表した。

(イ) 辞任した閣僚：

フアン・フェルナンド・コルデロ・クエバ国防大臣

リカルド・パティーニョ・アロカ外務大臣

ギジャウメ・ロング文化・遺産大臣

(ウ) 新閣僚：

リカルド・パティーニョ・アロカ国防大臣

ギジャウメ・ロング外務大臣

アナ・クリスティアーナ・ロドリゲス・ルデーニャ文化・遺産大臣

(エ) パティーニョ新国防大臣及びロング新外務大臣はそれぞれ外務大臣、文化・遺産大臣からの閣内異動。

(2) コレア大統領による軍幹部の交替

(ア) 2月5日、コレア大統領は、国内行政的問題に干渉したとして統合参謀本部長及び三軍の長の更迭（職務終了）を発表した。

(イ) 背景

2010年、エクアドル環境省が、グアヤキル郊外のロス・サマネスの379haの土地（現在は、ロス・サマネス公園となっている）を4820万ドルにて軍社会保障庁（Issfa）から購入した土地について、2015年11月18日、国家弁護官事務所（国の機関の契約の適切性をチェックする機能を持つ機関）が、同購入契約内容を確認し修正すべきとの意見を提出した。これを受けて、環境省は、グアヤキル市役所による同土地の評価額（640万ドル）に基づき2016年1月28日、3800万ドルの資金の返還をIssfaに要求した。右環境省の要求に対して、Issfa幹部は、三軍幹部及び退役軍人幹部に報告。コルデロ国防大臣は、憲法第159条により、統合参謀本部長は大統領の指揮に元にあることを発言した。2月3日午前、Issfa幹部及び退役軍人及び右を支援する市民数十名が国防省前に集合し、Issfaの資産は軍人、退役軍人に属するものであると主張し、警官隊と小競り合いとなった。2月4日午後、バリガ・コミュニケーション庁長官は、政府として、「財務省は4100万ドルをIssfaより差し引き、その分を環境省に付与すると決定した」旨発表した。2月5日午前、統合参謀本部長及び三軍幹部が集ま

り、記者会見を開き、ルイス・ガルソン統合参謀本部長が「我々は、軍の社会保障の資産を擁護する法的及び道徳的義務を持っている。これらの資産は、現役軍人、退役軍人とその家族に属するものである。」旨発表した。2月5日、Issfa幹部及び退役軍人及び右を支援する市民数十名が環境省前に集合し、Issfa擁護の声を上げた。

(ウ) コレア大統領による3軍幹部の更迭及び新幹部の任命：

コレア大統領は、2月5日昼過ぎに、ツイッターにおいて、「どの国で制服組（軍人）が、行政的課題に対して意見をすることはあるだろうか。残念ながら、軍幹部を予定より早くその職を解かざるを得ない。兵士や国民を操作することは許容できない。軍人の年金は、憲法第370条及びIssfaにより保証されている。政府は、Issfaに対して毎年5億ドルを支払っていることを国民は知るべきである。4100万ドルによりIssfaはつぶれるであろうか。」とコメントをした。同日、コレア大統領は大統領令第908号、同第909号及び同第910号により、統合参謀本部長及び三軍幹部を交替させた。

(3) 国家選挙審議会（CNE）による2017年大統領・国会議員選挙の日程等の発表

(ア) 2月19日付当地主要各紙は、18日、国家選挙審議会（CNE）が2017年大統領・国会議員選挙の日程等を発表した。

(イ) 選挙日程

<2016年>

8月18日 政党（Partido）・政治運動（Movimiento）の政治団体登録締切り

9月7日 選挙登録（10月2日まで）

10月18日 選挙告示

10月19日 立候補者の受付開始（11月18日まで）

<2017年>

1月3日 選挙運動解禁

1月16日 選挙運動期間終了

2月19日 投票日（2月16日及び17日をそれぞれ受刑者及び障害者のための投票日とする）（※5日以内の結果開票）

3月10日 大統領決選投票のための選挙運動開始

4月2日 大統領選決選投票日（※5日以内の結果開票）

5月14日 国会議員就任

5月19日 アンデス議会就任

5月24日 大統領及び副大統領就任

(ウ) 議席数

大統領及び副大統領, 国会議員: 定数137名(全国区: 15議席, 地方区: 116議席(県単位103議席及び地区単位13議席), 海外区: 6議席), アンデス議会議員: 5名

(エ) その他次期選挙に関する発表事項

- ① CNEは, 2017年の選挙においては, 2009年より開始され, 不正集計の温床になっているとの疑問が呈されていた選挙中間集計会議(Juntas Intermedias de Escrutinio (JIE))を廃止すると発表。右決定について, アルフレド・セラーノPSC党代表, セサル・モントゥファル氏(コンセルタシオン党中心人物), ジョバーニ・アタリウアナ国民連盟党代表等の野党議員代表は評価する旨発表している。
- ② 次期選挙予算については, 主に電子投票制度を採用しないことにより, 2014年選挙から4百万ドル減のおよそ131百万ドルとなる見通し。
- ③ CNEは, 選挙結果の早期開票を掲げ, 投票日の5日以内の結果開票を発表。(2014年選挙の際は, 結果開票まで20日要した。)
- ④ CNEは, 2017年選挙においては米州機構(OAS)及びUNASURの国際選挙監査団を受け入れる見通しであることを発表。
- ⑤ 女性の投票率を高めるため, CNEは, 国際セミナーを行ったり, UN Womenと協力した各種イベントの準備をしていると発表した。

2. 外交

(1) ジュリアン・アサンジ氏に関する国連人権理事会恣意的拘禁作業部会の見解発表及びエクアドルにおける反響

(ア) 2月5日, 在英国エクアドル大使館に滞在中のジュリアン・アサンジ氏に関し, 国連人権理事会恣意的拘禁作業部会は, 同氏がスウェーデン及び英国により恣意的に拘禁されているとの意見を発表した。エクアドル外務省プレスリリースのポイントは以下のとおり。

(イ) 国連人権理事会恣意的拘禁作業部会の意見を受け, アサンジ氏は在英国エクアドル大使館のバルコニーにてメディア等に対し, 同作業部会の報告は, 同氏及びその家族, その他大勢の「真の重要な勝利」であり, 英国及びスウェーデンの敗北を意味し, 今後両国は同報告の内容を遵守し, 恣意的な拘束状態を改める義務があると述べた。また, 同氏は, 本件を16ヶ月間考慮し検証してきた国連の取り組みに謝意を述べ, 同氏の意見では, 同恣意的拘禁作業部会の判断は「国内法や国家間の条約の上位にある国際法で最も上位に位置するも

の」であり「法的拘束力がある」ものであるとした。

- (ウ) また、アサンジ氏は同作業部会の決定は「最終的なもの」であり、英国とスウェーデンは直近2週間の間に異議を申し立てることが出来たにも関わらず、右をしなかったため、異議を唱える権利を持たない、と強調した。
- (エ) また、ハモンド英国外相が同国連作業部会の判断を「馬鹿げている (ridicula)」と述べたことに関し、アサンジ氏は「国連を侮辱するもの」であるとし、「かかる状況に対し、いち外相が述べる言葉としては道徳心が足りていない」旨述べた。

(2) エクアドル政府主催ハビタットⅢ始動発表会

- (ア) 2016年10月17日(月)から20日(木)にキトにおいて開催が予定されている、第3回国連人間居住会議(ハビタットⅢ)について、エクアドル政府は2月17日、「ハビタットⅢ始動発表会」を開催し、同ベントに向けて始動することを国内関係者、国際機関、外交団に対して正式に発表した。
- (イ) エクアドル政府のハビタットⅢ責任者である、マリア・デ・ロス・アンヘレス都市開発・住宅大臣は、ハビタットⅢの概要及びそれに向けたエクアドル政府の体制等について説明し、エクアドルの急激な都市化が引き起こした社会問題とエクアドル政府のそれに対する取り組みを紹介した上で、エクアドルにおけるナショナル・アーバン・フォーラムについて、3月から4月にかけて、国内5都市において都市と生産性、包摂的な発展、都市の持続性等について議論されると説明した。
- (ウ) ジョアン・クロス国連ハビタット事務局長によるビデオ・メッセージが流されたほか、リカルド・パティニーニョ・エクアドル外相が閉会の挨拶を行った。

(3) 中国人に対する観光ビザの廃止

- (ア) 2月27日、エクアドル外務省は、3月1日より、中国人に対する観光ビザを廃止すると発表した。これにより、観光目的でエクアドルに90日以内滞在する中国人は、ビザなしで入国することができるようになる。
- (イ) 当地主要新聞各紙は、本件は、2016年1月にコリア大統領が中国を訪問した際に中国関係者らに対し約束したものであると報じた。

(了)